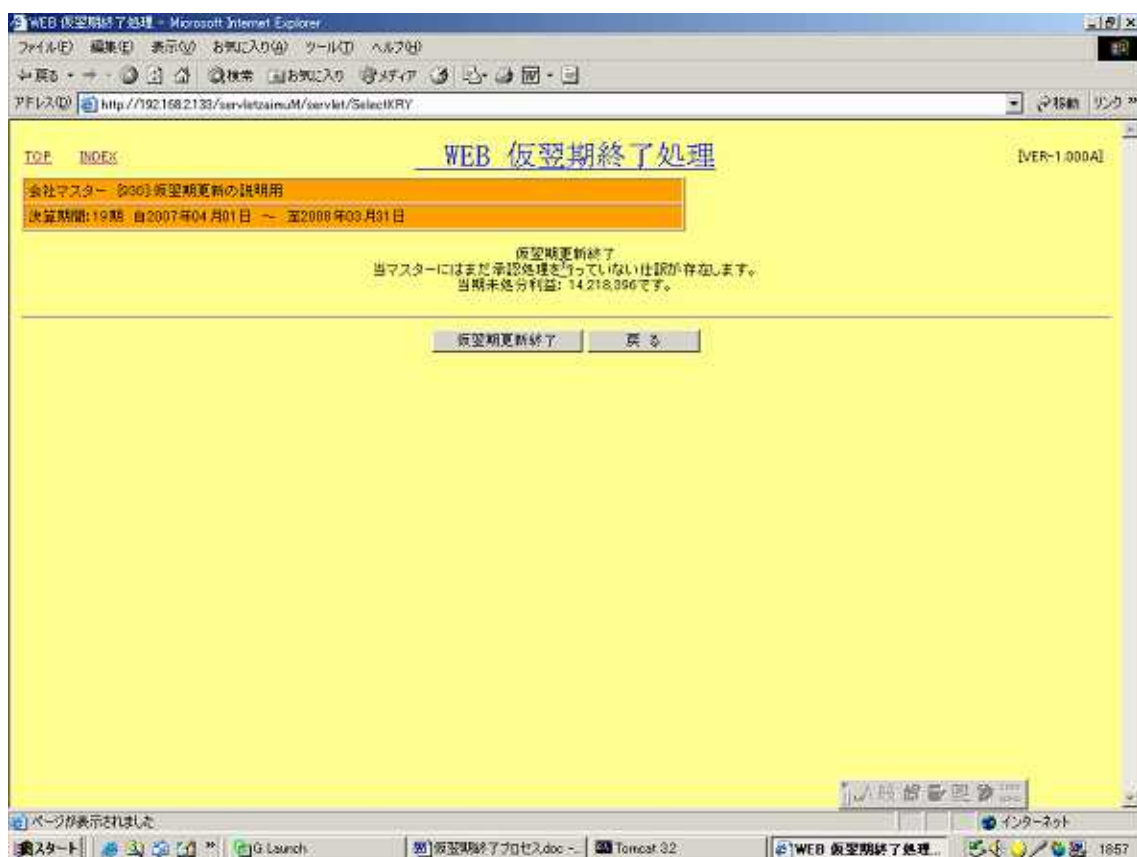


WEB マスタの 仮翌期終了



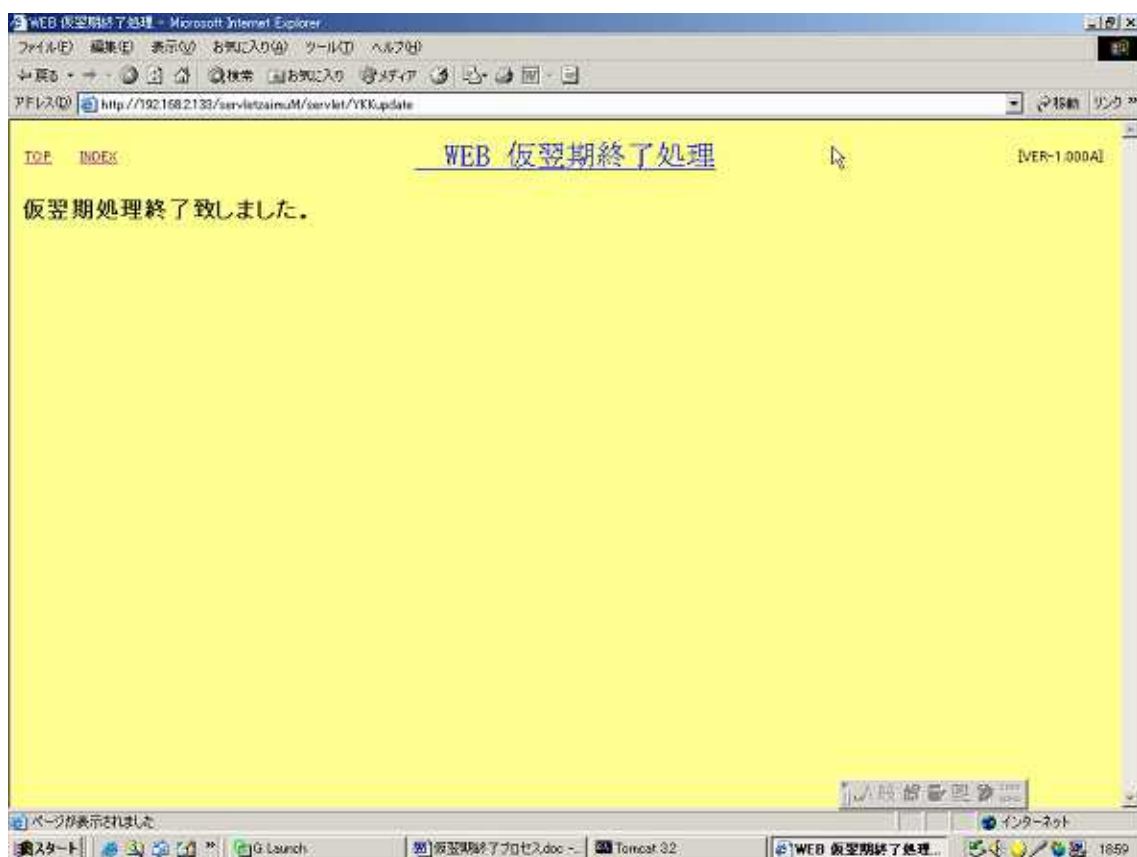
TOP メニューの特殊処理を選び
会社選択 作業者選択と進めて、上記の
《特殊処理関係》のメニュー画面を出します。

その中から、Web 仮翌期終了処理を選びます



管理者パスワードを入れた後は、上記の画面となります。

〔仮翌期更新終了〕を押します



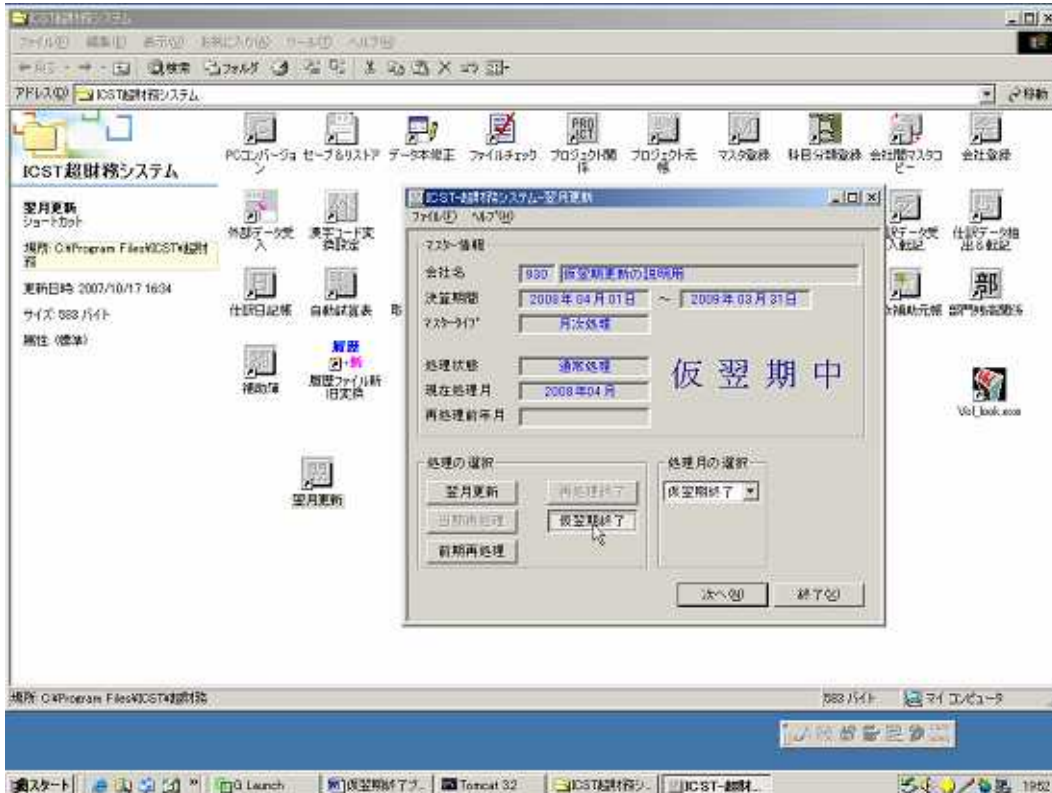
仮翌期処理が終了した後は、左上にメッセージが出ます。

以上で、WEB マスタの仮翌期は終了しました

超財務マスタの 仮翌期終了

* 事前準備として、

一旦、再処理で旧年度に戻り、オラクル DB への投入を済ませておいてください



翌月更新 を起動しますと、まだ仮翌期中であることが明示されています。
現在処理月が、新年度のいずれかの月度に設定されていれば
処理の選択 の中から 仮翌期終了を選択し 次へ を押します。

なお、前期再処理中では、仮翌期終了は押せません。

この場合は、再処理終了で新年度に戻ってから、上記の作業を行います。



翌月更新

マスター情報

会社名 930 仮翌期更新の説明用

決算期間 2008年04月01日 ~ 2009年03月31日

マスタータイプ 月次処理

処理状態 通常処理

現在処理月 2008年04月

再処理前年月

仮翌期中

更新内容

処理内容 仮翌期終了

前回処理月 2008年04月

今回処理月 2008年04月

データ期間 2008年04月01日 ~ 2008年04月30日

分析項目 粗利益 従業員

データ至日変更

戻る(B) 開始(S) キャンセル

下側の 開始 を押します

翌月更新

更新終了しました。

前回処理状態

処理状態 通常処理

前回処理月 2008年04月

データ期間 2008年04月01日 ~ 2008年04月30日

今回処理状態

処理状態 仮翌期終了

今回処理月 2008年04月

データ期間 2008年04月01日 ~ 2008年04月30日

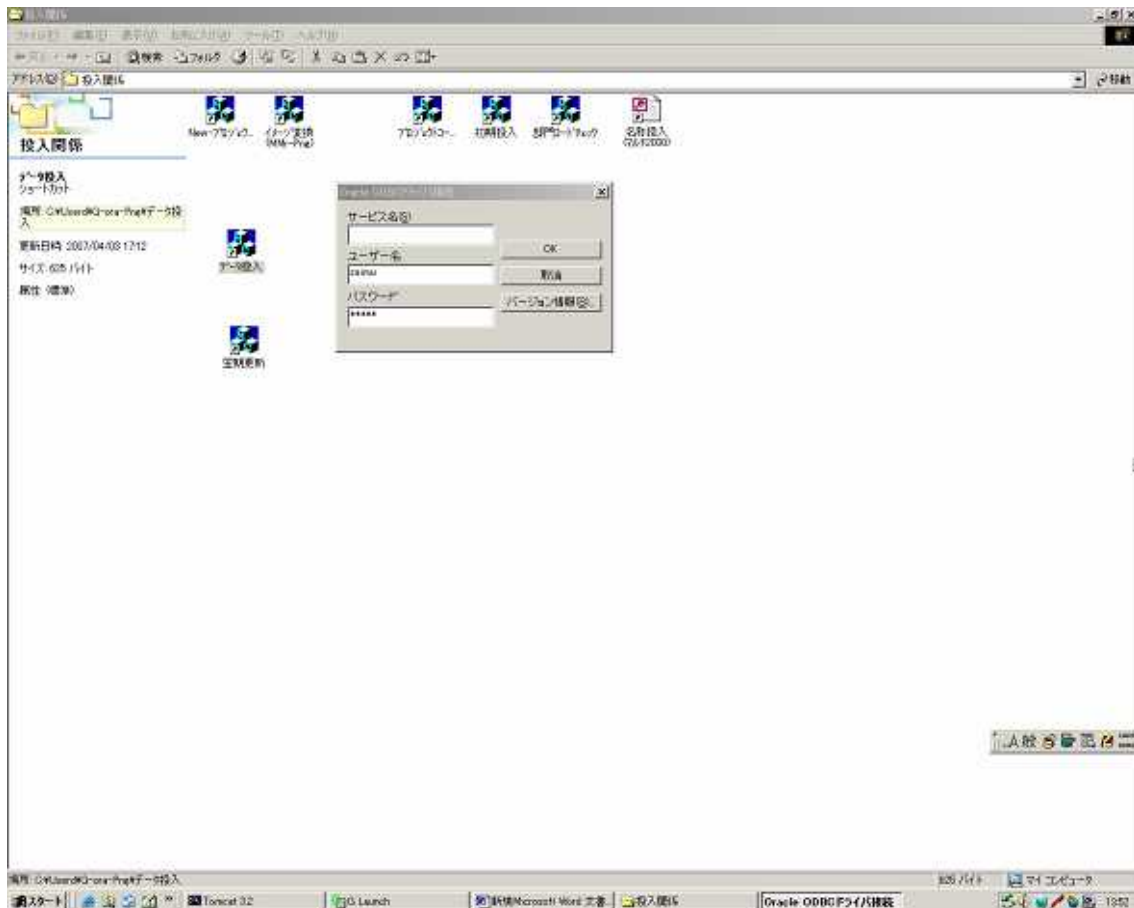
OK

更新終了が済んだので、OK を押すと、翌月更新のシステムは終了します

以上で、超財務マスタの仮翌期は終了しました

Oracleデータベースへ

新年度の確定開始残高を投入します



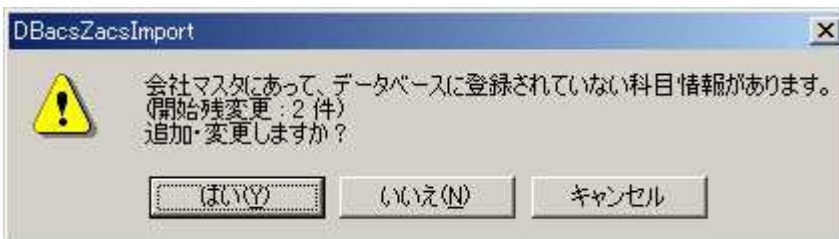
引き続き、投入関係の中のデータ投入を起動させ

ODBC ドライバ接続については ユーザー名 zaimu パスワード zaimu として

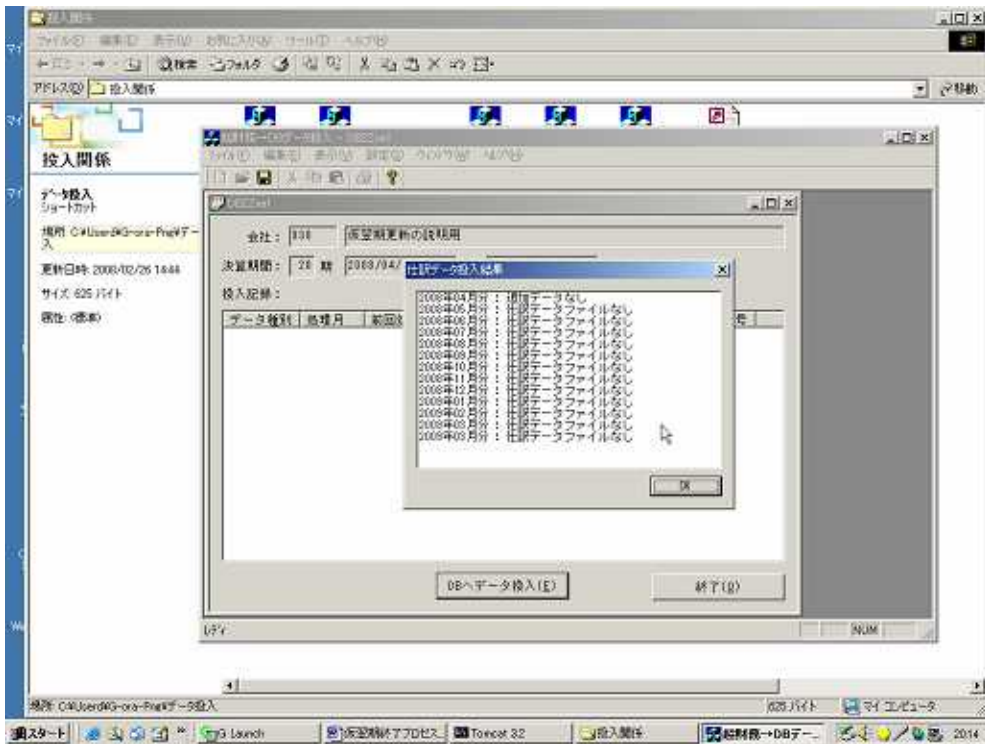
OK を押します



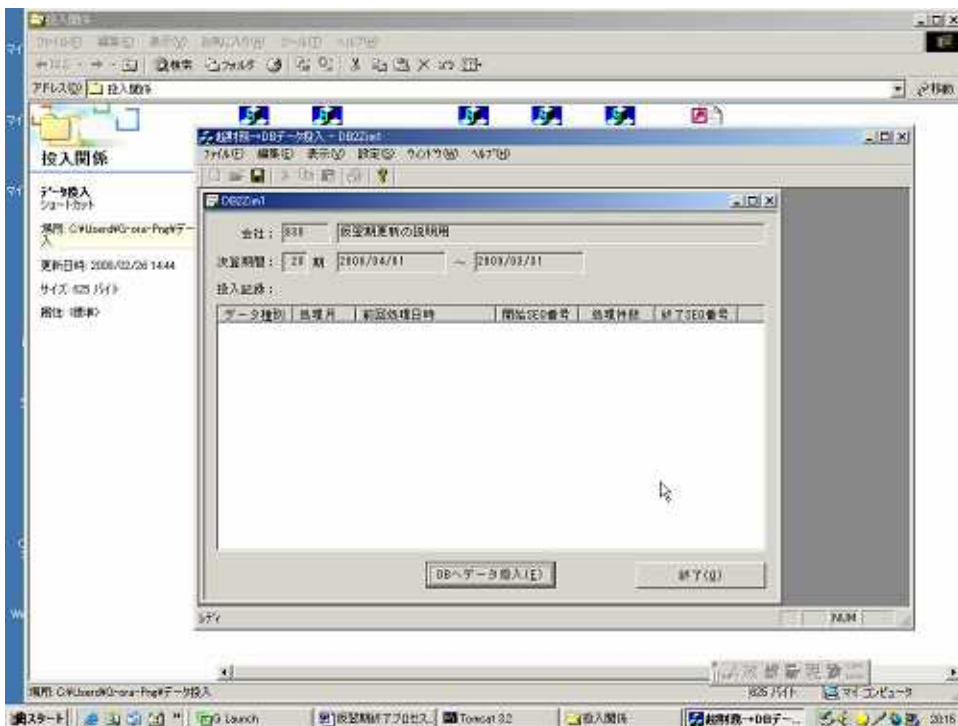
DBヘデータ投入 を押してください



科目や枝番の開始残高について 追加・変更の確認を求められたら、
どの場合でも、はい(Y) や OK で応じてください



投入結果が出ましたら、OK を押し



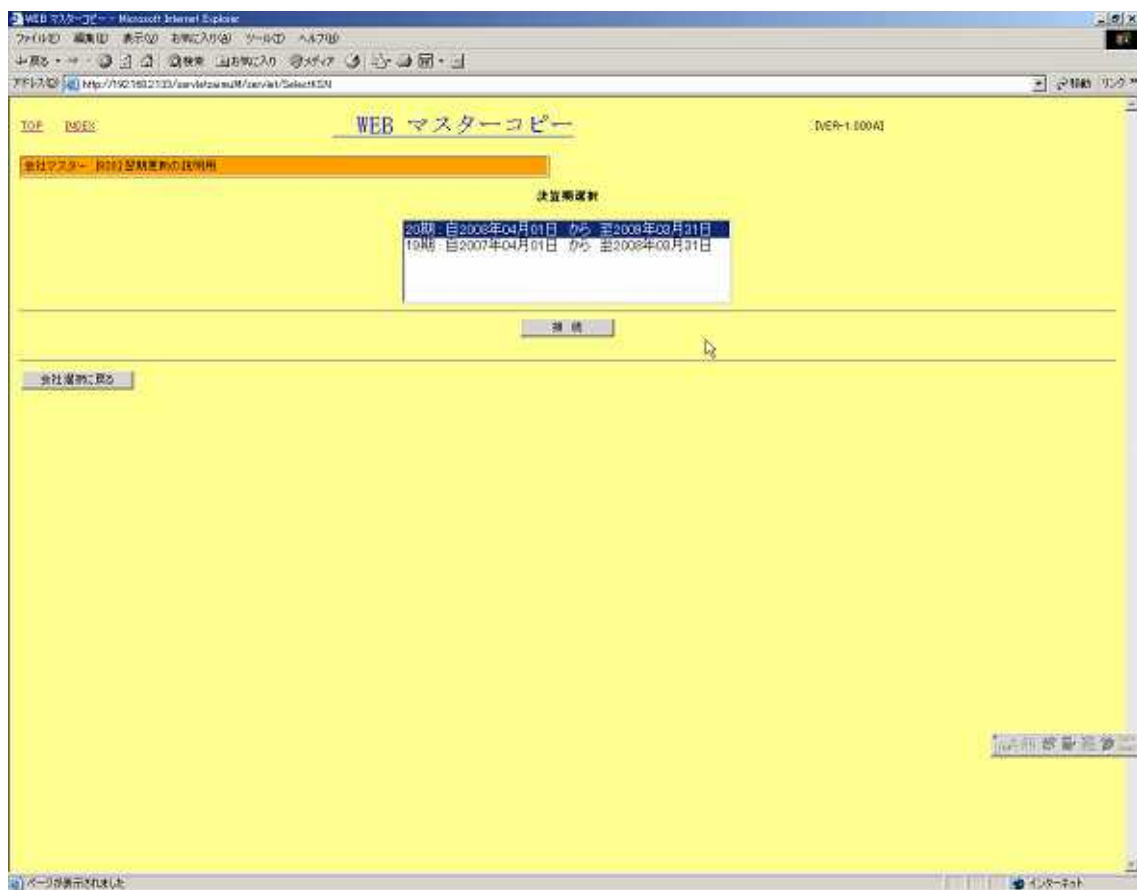
右下の終了 を押し、投入関係のフォルダも 閉じてください

以上で、超財務で確定した新年度の開始残高がオラクルデータベースにも投入されました

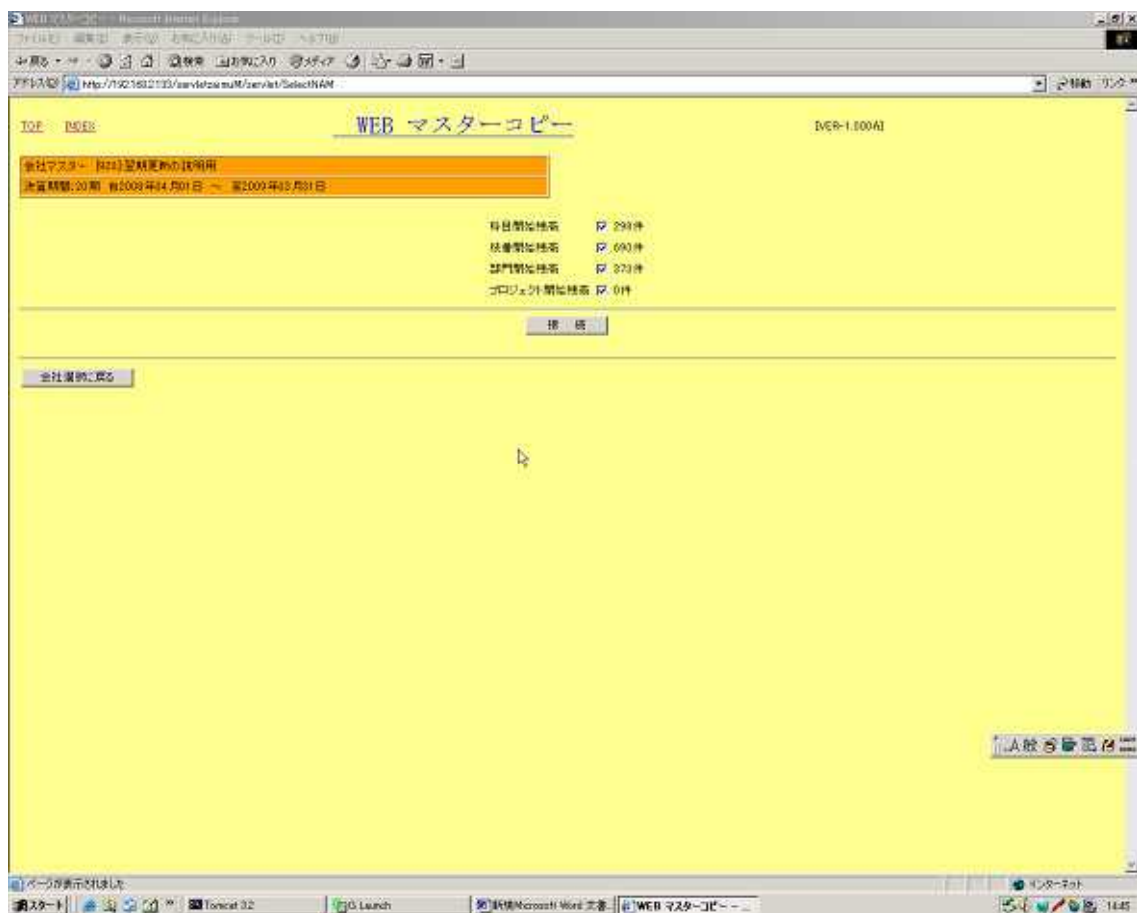
Web マスタコピー



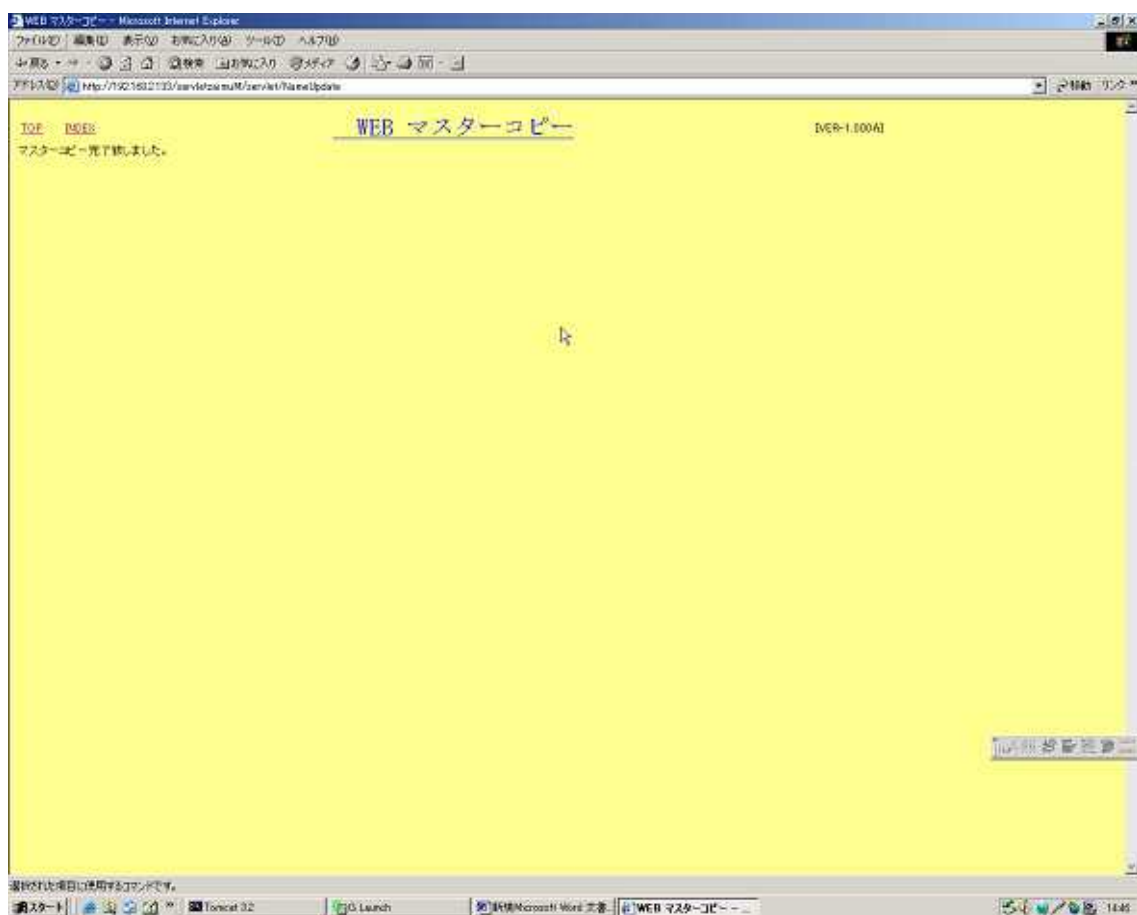
TOP 画面のマスター関係を選び、
会社選択 作業者選択 と進めていき、
上記の《マスタ登録》のメニューの中から、Web マスタを押します



新年度の期が選択されている状態のまま、接続を押します



接続を押します



左上に、完了の表示が出ましたら、終了です

以上で、

仮翌期に関する全ての作業

ならびに

超財務マスタ オラクルデータベース Web マスタへの
新年度の確定開始残高の、連動が完了しました。